仕様書

総務部

1. 件名

「会計システム」に関する分析調査

2. 目的

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下「NEDO」という。）は、「エネルギー・地球環境問題の解決」及び「産業技術力の強化」の実現に向けた技術開発を推進している。これらの事業等含めNEDO内で発生するすべての経理処理を行うため、独自開発した会計システムを利用している。

NEDOでは、実施しているプロジェクトを管理するプロジェクトマネジメントシステム（以下「PMS」という。）のリプレイスに向けた検討を行っているが、PMSと連携している会計システムに対する課題・要望等が挙げられていることから、本調査では、現状の会計業務のプロセスを整理し、会計システムに対する機能一覧等を作成したうえで、課題の整理や対応策の作成に向けた分析調査を行うことを目的とする。

3. 内容

(1) 現状の会計業務の分析

NEDOの会計業務について、会計システムの設計書及び業務を行う所掌部署（以下「業務担当部」という。）へのヒアリング等から業務体系や業務内容を整理し、会計業務の現状プロセスの把握を行なった上で業務フローの作成を行う。

(2) 会計システムの機能実装案の作成

現行の会計システムに対する課題と改善案を整理し、一覧を作成する。また、(1)の調査結果に加え、PMSのリプレイス検討から挙げられている課題一覧及び業務担当部へのヒアリング等から追加された要望等も検討範囲とし、それぞれ機能分類や区分も明示する。整理した課題及び要望一覧を踏まえ、会計システム構成及び、システム機能一覧を機能実装案として作成する。

(3) 会計システムに対する基本構想の検討

調査結果を踏まえたうえで、NEDOの業務効率化、ユーザビリティの向上、情報セキュリティ等を考慮した安全性、信頼性の確保の観点を取り入れた基本構想を作成する。基本構想には、システム化範囲、システム構築・運用に係るスケジュール及び概算費用の算出を行う。

4. 調査期間

NEDOが指定する日から2025年1月31日（金）まで

5. 報告書

提出期限：2025年1月31日（金）

提出方法：NEDOプロジェクトマネジメントシステムによる提出

記載内容：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って、作成の上、提出のこと。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

6. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。